

天台スカウト・ニュース



No. 6

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2天台宗務庁内
ホームページアドレス：<http://www.tendai-scout.jp>

発行日：平成24年5月10日

報告 任期満了に伴う役員改選、全理事の留任が決定

平成24年4月17日に開催された「平成24年度定例理事会」において、任期満了に伴う役員改選が行われ、理事長の寺本亮洞師をはじめとする全役員の前任の留任が決定しました（任期：平成26年度の定例理事会までの2年間。役員構成につきましては4ページの役員名簿をご参照ください）。全役員の前任の留任にあたり、寺本亮洞理事長よりあいさつと今期の抱負をいただきました。

昨年は4年に一度の「第8回天台キャンポリー」が盛大に行われ全国の天台宗に縁のあるボーイスカウト、ガールスカウトが比叡山に集い、発心会、一日回峯行、キャンプファイヤー等の行事に参加しました。今年には役員改選の年で関係者と相談の結果、全員留任ということになりました。今後の2年間、皆さんと色々協議を重ねて次代を担う青少年の育成に努力していきたいと思っております。この活動は「そなえよつねに」をモットーに、「人のお世話にならぬように、人のお世話をするように、そして報いを求めぬように」の方針に沿って活動をしています。まさに天台宗の開祖「伝教大師最澄」様の云われた「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」と諭されたお言葉と同じなのです。



▲源田俊昭師(左)、寺本亮洞師(中央)、羽生田寂裕師(右)
前期と同じ顔ぶれで今期も協議会の運営に取り組めます

天台宗スカウト連合協議会
理事長 寺本亮洞

第11回日本アグーナリー大会を滋賀県で開催！！

期 日：平成24年8月2日(木)～6日(月) 会 場：希望ヶ丘文化公園

平成24年8月2日(木)～6日(月)の4日間、滋賀県の野洲市・竜王町・湖南市にまたがる「希望ヶ丘文化公園」を会場に第11回日本アグーナリー大会が開催されます(BS日本連盟主催)。

日本アグーナリーは、4年を周期に、障がいのあるスカウト(特別な配慮を必要とするスカウト)が相集い、海外を含めた多くのスカウトたちとのキャンプ生活を通じて、スカウト仲間としての心の触れ合いと共通体験の中から、明るい希望を持って積極的に社会生活に参加することを目的に開催されてきました。

大会期間中の8月4日には天台宗総本山である比叡山延暦寺への参拝が予定されています。折しも同日の比叡山では、

期間中に世界のスカウトが
総本山比叡山延暦寺を参拝

比叡山宗教サミット25周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」が開催され、世界各地の様々な宗教者が集い、世界平和が祈念されます。天台宗スカウト連合協議会と致しましても世界中のスカウトに宗祖伝教大師のみ教えを布衍できるように日本アグーナリーへの協力を計ります。



▲第11回日本アグーナリーロゴマーク

第8回天台キャンポリー特集

開催日：平成23年7月22日（金）～24日（日） 会場：比叡山延暦寺

平成23年7月22日から24日の3日間、比叡山延暦寺を会場に第8回天台キャンポリーを開催。全国の天台スカウト217名が集いました。1日目は結団式と音楽法要の後、森川宏映探題大僧正導師のもと、大講堂にて参加者全員が発心会に臨みました。2日目には延暦寺山内を舞台にクイズラリーを開催、参加者は楽しみながらも比叡山について学習しました。夜には営火を実施、各団が地域の特色を活かした出し物を披露しました。最終日には団を超えた友情が芽生え、それぞれが再開を約束して帰路につきました。



▲森川探題と両内局を囲んでの記念撮影

結団式・音楽法要



▲天台スカウト三つの誓いを宣誓



▲スカウトらしく歌で法要を厳修

発心会



▲全員が仏の子として誓いをたてた



▲初めてのお剃刀。緊張の場面

野外プログラム



▲目的地はどこ？みんなで考えよう



▲延暦寺は知らない事だらけだ！

営火



▲みんなで踊ろう！みんな友達だ！



▲天台ユースが営火を盛り上げた

信仰心の高揚



▲毎朝、根本中堂の朝事に随喜した



▲仏様が身近な存在になったかな？

宗教章特別講習



▲根本中堂での座禅実習で心を練る



▲実際の仏具を使って作法を学ぶ

第28期 仏教章第2教程講習会を比叡山延暦寺で開催

平成24年3月26日(月)～28日(水)の2泊3日の日程で第28期仏教章第2教程講習会が比叡山延暦寺の居士林において開催され、全国から46名のスカウト(中学生～大学生)が参加しました。昨年は東日本大震災の影響により中止を余儀なくされ、1年ぶりの開催となりました。日本仏教の母山である比叡山での講習会には天台宗のスカウトのみならず、仏教各宗派のスカウトが参加することが特色といえます。今期の講習会には天台宗の他に真言宗、浄土宗、曹洞宗、日蓮宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、浄土真宗高田派のスカウトが参加しました。講習会では宗祖の伝記や天台宗の教義などの講義、仏教聖歌や坐禅止観、仏壇の荘厳、写経の実習、深夜2時からの一泊回峯行を実施しました。その他にも食事作法や日常生活の指導も行われ、普段と全く異なる環境で緊張づくめのスカウトたちでしたが、修了式の法楽では研修生が導師を務めるなど、頼もしい姿をみせてくれました。今後、寺院での奉仕実績(第3教程)を積んだスカウトには栄えある仏教章が授与されます。



▲止観作法について学ぶ



▲一字一字に集中しながらの写経



▲閉講式の導師を務めたスカウト

天台青年スカウト特集

第13回天台ユースシンポジウム ～ 輪 ∞ ～

平成23年9月17日(土)～19日(月)、岐阜県不破郡関ヶ原町のグリーンウッド関ヶ原を主会場に「第13回天台青年スカウトシンポジウム」(実行委員長:天台1団 大谷和史くん)が開催され全国から9名の天台青年スカウトと2名の来賓が参加しました。第13回シンポジウムのテーマは「輪～∞～」とし、野外活動を通して他団のスカウトとの交流を深め、また今後の天台青年スカウトシンポジウムについて考えることを目的に企画しました。



▲ラフトに乗って激流の川を下った

1日目は参加者の懇親を深めるプログラムを実施。また、ディスカッションでは「天台ユーススカウトの次なるステップ」をテーマに、意見を交わしました。具体的には天台宗のユーススカウトの枠を超え、他宗派のユーススカウトの活動に参加したり、仏教スカウトベンチャーフォーラムに積極的に参加し、他団との繋がりを新たに構築することが挙げられました。また、参加者の原隊の行事に他団の天台ユースを招待するなど、天台ユースの中でも交流を活発にすることを決めました。2日目は宗教儀礼を終えた後に、野外プログラムとしてラフティングを体験しました。なお、次のシンポジウムは東日本大震災の復興支援活動を8月に予定しています。



▲シンポジウム参加者で記念写真

天台スカウトが富士章を受章

天台1団(大津12団)の中野哲嗣くんが平成23年度富士章を受章!

平成23年8月27日、大津市坂本の生源寺において、天台1団(大津12団)ベンチャー隊中野哲嗣スカウトの富士章授与式が執り行われました(大津12団主催)。日没後、山川直之隊長及び山内健太郎副長が見守るなか、中野スカウトは先輩・後輩スカウトへ自身の「ちかい」と「おきて」の実践について報告し、富士スカウトとしての意気込みを述べました。授与式では、まず宗教儀礼を執り行い、活動拠点である生源寺のご本尊に中野スカウトの富士章受章を奉告しました。その後、山本健二団委員長より栄えある富士章が授与されました。中野スカウトは東日本大震災復興ボランティアにも参加し、現在も奉仕の実践に励んでいます。



▲山本健二団委員長より富士章が授与された

一般社会へ天台宗務庁の公益性が浸透
天台宗務庁でボーイスカウト講習会を開催

滋賀連盟 第287回
滋賀連盟 第288回



▲講師の説明を熱心に聴き入る参加者

平成23年11月6日(日)、平成24年2月12日(日)に滋賀連盟第287回、第288回ボーイスカウト講習会が天台宗務庁中会議室を会場に開催され、合わせて22名が講習生として参加し、スカウト運動について理解を深めました。

ボーイスカウト講習会は成人指導者がスカウト教育の原理と基本的な方法を、その活動を体験することにより、正しく理解することを主たる目的としています。講習会では講義や野外活動が実施され、参加者はスカウト体験をすることでスカウト運動に対する理解をさらに深めました。また、近年、天台宗務庁における講習会の開催が定着し、普段あまり接点がない一般の方々が天台宗務庁に来庁されることで、一般の方々にとって天台宗がより身近な存在となりつつあるように感じられます。

お知らせ

『天台宗スカウトハンドブック』・『年少スカウトハンドブック』を出版

第8回天台キャンポリーの記念事業の一環として『天台宗スカウトハンドブック』を改訂出版致しました。改訂内容はB7版への縮小、文字の拡大と漢字へのルビふり、文章の平易化です。また、年少スカウトを対象にした『天台宗年少スカウトハンドブック』を新たに出版致しました。こちらもB7版ですが、文章を少なくし、イラストを多く使うことで年少スカウトでも信仰について興味をもてる内容になっています。檀信徒様や寺族の教化資料としても十分活用できる内容です。希望者へは頒布致しておりますので、天台宗務庁社会部内B/S係までお問い合わせください。

<p>5月 <small>ツバキ</small> 私の子ども</p> <p>みなさんはよく絵を描きますよね。なぜ一生懸命に絵を描くのでしょうか。それは絵を描くという行為の中で決めたからです。みなさんの心の中には仏さまがいます。仏さまと一緒に決めたことを最後まで最後までやり遂げることが仏の子どもです。</p>  <p>【指導者の皆さまへ】 活動は「目標」の活動ではなく、遊びの中で子どもは自ら活動し、活動の意義を感じることが出来ます。私には仏さまの力が働いていること、最後までやりとげれば必ず仏様が報答することを指導しましょう。</p>	<p>6月 <small>アサギ</small> 伝教大師最澄さま</p> <p>伝教大師最澄さまは昔さんと同じく若い年齢の時は「伝教」という名前を、お父さんとお母さんの言うことを、よく守る真面目な子でした。12歳の時からお寺で修行に励まれ、19歳の時に「入道」のために苦学できる人を目指したいと決心し、比叡山に入道された。伝教大師最澄さまは毎月4日に6日歳でおくになりになりました。伝教大師最澄さまのように立派な人になれるよう、自らのスカウト活動に励みましょう。</p>  <p>【指導者の皆さまへ】 「伝教」は修行の心、聖とは謙虚なり、徳ある人を名づけて最澄とすなり、「一徳を修らす、これ即ち最澄なり」と言われ、比叡山伝教寺編年史に「行」をかけた。伝教大師最澄の思想は本願の法門として伝えることなく今日に至ります。</p>
---	--

▲『年少スカウトハンドブック』の一部

皆さんの情報をお寄せください

天台宗スカウト連合協議会公式ホームページ

天台宗スカウト連合協議会公式ホームページでは、天台宗スカウト連合協議会の行事や各種資料などを掲載しておりますが、全国各地で活動している天台スカウトたちの姿を掲載することにより、「自団の活動の参考や刺激やになれば・・・」とも考えております。

天台スカウト各団でユニークな活動、面白い行事等ありましたら公式ホームページに掲載致しますので、scout@tendai-scout.jp へ是非ご一報下さい。

スカウト活動(教育)とは?

今から100年前にイギリスのベーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術(スカウティング)であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」が必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教(信仰)」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：平成24年度総会～平成26年度総会

- | | | |
|-------------------|----------------|--|
| 理事長：寺本亮洞 (東久留米2団) | | |
| 副理事長：源田俊昭 (足利1団) | 羽生田寂裕 (京都77団) | |
| 常任理事：吉川廣隆 (村山1団) | 山本健二 (大津12団) | |
| 林敬順 (稲沢9団) | 當麻 葵 (東京150団) | |
| 小鴨覚俊 (大津12団) | | |
| 理事：葉上彰保 (浅口3団) | 神原彰仁 (倉敷14団) | |
| 多田孝正 (秦野1団) | 久保田由実子 (滋賀14団) | |
| 小堀光實 (大津12団) | 茅原隆之 (浅口3団) | |
| 相談役：幹 榮盛 (加古川2団) | | |

第29期 天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

平成25年3月26日(火)～3月28日(木)

於：比叡山延暦寺西塔居士林

参加資格

- 登録完了のボーイスカウト1級以上・ベンチャー・ローバースカウト
ガールスカウトはレンジャー以上
 - 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
 - 天台宗の教えに篤い信仰の心をもつスカウト
 - 天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
 - 家の宗派が天台宗であるスカウト
 - 天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
 - 第1教程修了者(ガールもこれに準ずる)
- ※平成25年1月下旬に天台各団宛にご案内致します。